

泥水をろ過してみよう

---

- SDGs テーマ



## 安全な水とトイレを世界中に

- この実験の意義

安全な水がなかなか手にいらない国や地域の大変さを知ること

# 実験内容

石やコーヒーフィルターなどを使って、オリジナルのろ過装置を作り、泥水をろ過してどのくらい水が綺麗になるか調べる

- 必要なもの

泥水、コップ、ペットボトル、炭、お手拭き、綿、ガーゼ、  
コーヒーフィルター



# 実験開始

## ①ろ過装置を作る

ペットボトルの底の部分を切り取り、キャップの部分にガーゼをあててろ過装置の注ぎ口を作る

土→石→お手拭き→炭→綿→コーヒーフィルター  
の順でペットボトルにつめていく



## ②ろ過開始



---



### ③結果

14分でろ過終了



ほとんど透明だったが、  
少しだけ土が入っていて  
土の匂いが凄く、飲もうと  
思えるような水ではなかった



## ⑤考察

コーヒーフィルターが活躍してほとんどの土を回収したろ過された水には少ししか土が入っていませんでした。

しかし、土の匂いが凄くとても飲みたいと思えるような水ではなかったです。

ろ過には14分もかかって私が想像していた以上に時間がかかりました。





## ⑥結果

こんなにもろ過を重ねても土の匂いが凄くとても飲みたいと思えるような水ができなかったので、綺麗な水が手に入りにくい国は大変だなと感じました。世界中の人が健康に過ごせるように先進国が率先して発展途上国に綺麗な水を届けることが大切だと思いました。



## 参考文献

[mwland.jp/experience/01.html](http://mwland.jp/experience/01.html)